

第3種郵便物認可

マンツーマン指導、タブレット端末活用も

# 平取の公設民営塾 好評

【平取】町内の中高生を対象に町が昨年開講した学習塾「びらとり義経塾」が生徒に好評だ。昨年は町内の中高生全体の約5割に当たる生徒が通い、今年は人気が口コミで広まり、さらに増える見込み。町教委は塾の魅力を広げ、通塾率や進学実績の向上につなげたい考えだ。

(川崎博之)

## 2年目 受講増、中高生の6割通う

「テキストにある例題の解き方を参考に解いてみよう」

今月20日の塾で講師がこう呼び掛けると、個別指導を受けた生徒が真剣な表情でうなずいた。教室内には観葉植物もあり、落ち着いた雰囲気。自習室もある。平取高1年の川上真那心さん(15)は「マンツーマン指導でわかりやすく、全教科で成績が大きく伸びた。歩いて通える距離にあり、志望校合格のために頑張りたい」と話した。

が1学年40人の定員を割り続けていることから、同高の大学などへの進学実績を上げることで、町内の入学志望者を増やす狙いもある。町が受講料や教材費など全額を負担する。事業費は年3千万円。町は少なくとも2020年度まで事業を継続させる方針だ。

道内各地での指導実績などを考慮し、町は個別指導の学習塾Birth47(東京)に委託。講師3人は町内に居住し、日曜を除く週6回の個別指導に当たる。中学生は週2回まで、高校生は無制限で受講できる。

テキストやタブレット端末を使った映像教材が用意され、苦手分野対策や得意科目の強化など一人一人の生徒の目的に合わせたカリキュラムが組まれている。

平取高の菅原雅之校長は「個々の学力に応じて指導できるのは塾の強みだ。金銭面など家庭の負担を減らせる」と強調する。

初年度は平取中、振内中、平取高の生徒計186人のうち95人(うち高校生22人)が受講した。本年度は、既に全体の57%に当たる109人(同30人)が通っており、中学、高校の各3年生



丁寧な指導で生徒に好評なびらとり義経塾

が部活動を引退する夏以降はさらに増えると思われる。庄野剛教育長は「町広報紙や保護者向けの説明会

などで塾の魅力を丁寧に伝え、通塾率を高めたい。高校の入学者数は定員確保を目指したい」と話す。